

3 鉄の垂鉛めっき (14. 2. 3)(表14. 2. 2)

表面処理方法	種 別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	AC室外機置場
	・B種	
	※C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4 手すり及びタラップ (14. 2. 1)(14. 8. 2)(14. 8. 3)(表14. 2. 2)

種 類	材料の種類	表面処理
手すり	・ステンレス SUS304	HL仕上げ

5 金属成形板張り (14. 6. 2)(表14. 2. 1)

形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理
・スパンドレ ・押し出し ・ロール	・ガルバリウム製			0.8	・B-1種 ・B-2種 ・白色
・パネル形 ・切板形	・プレス	ボンデ鋼板 t=1.6 オープンジョイント工法			・プレバレン処理

伸縮調整継手 ・設けない ・設ける (14. 6. 3)
(施工箇所は図示)

6 アルミニウム製笠木 (14. 7. 2)(表14. 2. 1)(表14. 7. 1)

種 類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考
・250形	2. 2以上	・A-1又 はB-1種	固定方法及 び間隔は品 質計画で定 めたもの	隅角部及び突当た り部等の役物は本 体製造所の仕様による。
・300形	2. 5以上			
・350形	3. 0以上			
・100形		・C-2種		白色：親水性フッ 素樹脂焼付塗装

7 ステンレスF B笠木
・RFLバラベツト笠木

① 見本の製作等 (16. 1. 4)

② アルミニウム製建具 (16. 2. 2)(16. 2. 4)(表16. 2. 1)

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	※S-5				
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

表面処理 ※B-1種 (一般サッシュ) (表14. 2. 1)
◎B-2種 (・ブロン系・ブラック◎マッドシルバー-(YKK AP))

屋内建具 (表14. 2. 1)

表面処理 ・B-1種 シルバー(9YU+03BC+7YU+03BC)
◎B-2種 (・ブラウン系・ブラック◎白色系)

③ 網戸 (16. 2. 3)

網の種類 ・ステンレス製(SUS316)◎合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製

形 式 ◎外部可動式 ・内部可動式 ・固定式

④ 鋼製建具 (16. 3. 2)(表16. 3. 1)

ボンデ鋼板 t=1.6mm (16. 3. 2)(表16. 3. 1)

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値
※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない

耐風圧性適用は建具表による。
特定防火設備の戸 ・適用あり

⑤ 鋼製軽量建具 (16. 4. 2)

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16. 4. 2)
※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない

6 ステンレス製建具 (16. 5. 4)

表面仕上げ ◎HL程度 ・鏡面仕上げ (16. 5. 4)
曲げ加工 ・普通曲げ ◎角出し曲げ(補強あり) (16. 5. 5)
特定防火設備の戸 ・適用あり (表16. 5. 1)

7 自動ドア開閉装置 (16. 8. 2)(16. 8. 3)(表16. 8. 1)(表16. 8. 3)

開閉方法	センサの種類
・マットスイッチ	・電子マットスイッチ
・スライディングドア	・光線スイッチ
・スイングドア	・音波スイッチ
	・熱線スイッチ
	・光電スイッチ
	◎リフレキセンサスイッチ

・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)

8 自閉式上吊り引戸装置 (16. 9. 2~16. 9. 4)

品質規格 ◎共仕16. 9. 3による (16. 9. 2~16. 9. 4)
・製造所標準仕様による

⑨ 木製建具 (16. 6. 2)

かまち戸の樹種 かまち() 鏡板() (16. 6. 2)
ふすまの上張り (表16. 6. 3)
・新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の表面は除く)
・鳥の子

合板類は、JASで定めるホルムアルデヒド放出量の等級 Fc0 (16. 6. 2)
MDF(中密度繊維板) (MDF)およびパネライボード (19. 7. 2)
JISで定めるホルムアルデヒド放出量の等級 E0

10 その他の建具 (16. 7. 4)

・エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等

⑩ 建具用金物 (16. 7. 4)

マスターキー 製作する ・製作しない (16. 7. 4)
建具用金物 (16. 3. 6)(16. 4. 6)
錠前類は電気錠・シンダー箱錠(レバーハンドル)とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員に承諾を受ける。(16. 7. 2)
吊金物
※丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
※ピボットヒンジ

12 ガラス (16. 13. 5)

下記以外は、建具表による (16. 13. 5)
・ガラスブロック 品質JIS A5212によるもの

寸法(mm)	色 調	パターン	防火性能
	※クリア ・熱線反射		・無し
	※乳白 ・カー(耐火耐熱ガラスブラック)		・有り

⑬ ガラスとめ材及び溝 (16. 13. 2)(表9. 6. 1)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket (FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	・シーリング材

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16. 13. 3)
共仕16. 9. 3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会 JAS17ガラス工事「3. 1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を 監督職員に提出する。

⑭ ガラス用フィルム (16. 10. 2)

名 称	施工場所	張り面	性能値
ウレタン LP-90		・内張り ・外張り	
ウレタン LP-90		・内張り ・外張り	
ウレタン LP-90		・内張り ・外張り	
3Mスコッチタイト クラウドフィルム /ステーク20(RE20SMAR)		・内張り ・外張り	
3M 透明飛散防止フィルム (SH2CLAR)		・内張り ◎外張り	飛散防止率 D1

品質 JIS A5759による

15 重量シャッター (16. 10. 2) (表16. 10. 1)

開閉機能 (16. 10. 2) (表16. 10. 1)
・上部電動式(手動併用) ・上部手動式

外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 ・50 ・80 ・120
危害防止機構 設置しない箇所 図示
・障害物感知装置(自動閉鎖型)
・シャッターの二段降下方式

一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない (16. 10. 2)

16 軽量シャッター (16. 11. 2) (表16. 11. 1)

開閉形式 ・手動式 ・上部電動式(手動併用) (16. 11. 2)(表16. 11. 1)
スラット 材質 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・鋼板(焼付塗装)

形状 ・インターロック形 ※オーバークラック形 (16. 11. 4)
ガイドレール等 ・鋼板製 ・ステンレスSUS304(厚さ1.5mm)(表16. 11. 2)
外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 ・50 ・65 ・80

⑰ オーバーヘッドドア (16. 12. 2)(16. 12. 3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ(ボンド鋼板)	・手動式	・クランク形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・電動式	・ローラード形	・ステンレス鋼板(SUS304)
・ファイバーグラスタイプ		・ハイリフト形	
・米杉		・パネル形	

耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125
電動式の場合は障害物感知装置を設ける。
*仕上は天然木突板貼(金剛産業)

特記：鋼製建具(アルミ・ステンレス)はYKKAP同等品とする

2 PCカーテンウォール (17. 2. 2)

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JAS14による。
コンクリートの種類及び品質 (17. 3. 2)
・共仕17. 3. 2による
・下表による。ただし、下表以外は17. 3. 2による。

コンクリートの種類	設計基準強度(Fc)	所要スランプ(cm)

鉄筋 ・SD295A

取付け用金物の表面処理(鉄の垂鉛めっき)及び材質 (14. 2. 3)(表14. 2. 2)

金物種類及び部位	内 部	外 部
PC版打込み金物	・E種	・A種
PC版打込み取付ボルト	・E種	・ステンレスボルト
2次ファスナー	・E種	・A種
取付けボルト	・E種	・A種
レベル調整ボルト	・E種	・A種

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。

シーリング材料
下記以外は共仕表9. 6. 1による (9. 6. 2)(17. 3. 2)(表9. 6. 1)

施工箇所	シーリング材の種類
カーテンウォール板間目地	記号 主成分による区分 耐久性による区分

断熱材 ・適用しない (17. 2. 2)
・適用する(種類： 厚さ(mm)：施工箇所・図示)
製品の寸法許容差 ・共仕表17. 3. 1による (17. 3. 3)(表17. 3. 1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ ()

⑮ ① モルタル塗り材料 (15. 2. 2)

吸水調整材 (15. 2. 2)
製造所 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
製造所 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する

2 直均し仕上げ (15. 5. 2) (表15. 5. 1)

種 類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	・ゆず肌状
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状・さざ波状
※複層仕上塗材	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状・さざ波状・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材W	床壁状じゅらく
※複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状・凸部処理凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性 ※3種
	・複層塗材Si	上塗材
・軽量骨材仕上塗材	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	・複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系
	・複層塗材RS	
・吹付用軽量塗材	・防水形複層塗材CE	外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材E	・メタリック
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材 ※行う
・こて塗用軽量塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

防火材料の指定 (15. 5. 2)
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。
※アクリル樹脂塗装 しゅくいHR フッコー

⑮ ② モルタル塗り材料 (15. 2. 2)

吸水調整材 (15. 2. 2)
製造所 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
製造所 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する

2 直均し仕上げ (15. 5. 2) (表15. 5. 1)

種 類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	・ゆず肌状
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状・さざ波状
※複層仕上塗材	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状・さざ波状・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材W	床壁状じゅらく
※複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状・凸部処理凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性 ※3種
	・複層塗材Si	上塗材
・軽量骨材仕上塗材	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	・複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系
	・複層塗材RS	
・吹付用軽量塗材	・防水形複層塗材CE	外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材E	・メタリック
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材 ※行う
・こて塗用軽量塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

防火材料の指定 (15. 5. 2)
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。
※アクリル樹脂塗装 しゅくいHR フッコー

17 シーリング材の種類 (17. 2. 2)

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JAS14による。
カーテンウォール材料の種類 (17. 2. 2)

種 類	規格等
・アルミニウム製	・共仕16. 2. 3の7Mに引製建具の材料による

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリアン方式(・単純2辺支持構法 ・SSG構法)
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式(・ノックダウン方式 ・ユニット方式)

シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は共仕表9. 6. 1による (9. 6. 2)(17. 2. 2)(表9. 6. 1)

被着体の組合せ	シーリング材の種類
金属	ガラス 変成シリコン系シーリング
ガラス	石、タイル シリコン系シーリング
ガラス	ガラス 変成シリコン系シーリング

構造用ガasket ・適用しない (17. 2. 2)
・適用する (施工箇所：図示)